

公 表 日

令和 3年 6月10日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	河川管理施設予防保全型修繕計画検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 樋口 尚弘 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	令和 3年 6月10日
契約業者名	河川管理施設予防保全型修繕計画検討業務 九州建設コンサルタント・北部九州河川利用協会設計共同体
契約業者の住所	大分県大分市大字曲936-1
契約金額	14,971,000円(税込み)
予定価格	14,971,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	大分川水系及び大野川水系直轄管理区間
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 3年 6月11日
履行期間(至)	令和 3年12月20日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 河川管理施設予防保全型修繕計画検討業務
2. 履行場所 大分川水系及び大野川水系直轄管理区間
3. 契約の相手方 住所：大分県大分市大字曲936-1
会社名：河川管理施設予防保全型修繕計画検討業務
九州建設コンサルタント・北部九州河川利用協会設計共同体
電話：097-569-9595
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、洪水・高潮の水害から公共の安全を保持することを目的に、河川法で定める河川管理施設について、施設の供用期間中、その機能を良好な状態で維持するための戦略的な予防保全型修繕計画を検討するものである。

- 2) 業務の内容

・ 構造物三次元点群測量	1 式
・ 堤防三次元点群測量	1 式
・ 構造物の被災メカニズム分析	1 式
・ 堤防の危険度レベル分析	1 式
・ 機能維持目標の設定	1 式
・ ライフサイクルコストの算出	1 式
・ 戦略的予防保全の基本方針検討	1 式
・ 会議資料作成	1 式

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する2者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」における「業務理解度」、「実施手順」、「その他」が優れており、特定テーマの「戦略的予防保全の基本方針の検討手法について」に対する技術提案における実現性の提案内容について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 河川管理課長